

ここはあなたのお家です

その人らしい 居場所作り

令和元年11月発行 [第11号]

相良ホーム長の ご利用者ファースト

「おうち」のように

利用者さんのお家になりたい。

グループホームこまばの利用者の皆さんは認知症で自宅での生活が出来なくなってここに入居されました。ご本人は願わくは住み慣れた自宅で生活し続けたかったと思います。でも、出来なかった…。

ならば、グループホームが「おうち」になれば良いのです！

自宅のように自由に外に出られるようにすれば良いと思ひ玄関の鍵はしていません。外出は自由です。外泊も出来ます。お酒も飲めます。持ち込みはなんでも可能です。面会に制限はないですし、ご家族もいつでも来られます。連絡も要りません。泊まってくても結構です。そのようにして「おうち」のような環境を整えました。それでも「自宅」にはなり得ません。

自宅とは、かつて自分が子育てや家事・仕事などで人に求められていた場所だからです。たとえ自宅にいたとしても「うちに帰ります」と言う方がいるのは、自分が求められているという実感を味わえていないからです。

だから、ホームでは本人が求めている役割を作ることを強く意識しています。利用者さんが家事等の役割を行うと、人に感謝されます。そうなることで、自分が居て良い理由ができます。人との関係作りも大切にしています。話し相手でも近くに居るだけでも、求めてくれる人がいると、やはり自分が居て良い理由ができます。つまりホームに居場所ができるのです。どんな小さなことでも、利用者さんが役割を持てるようにし、利用者さん同士の助け合う関係性を保てるようにして、その人らしい居場所作りをしていきます。



土いじりは昔から方法が変わらないから力を発揮しやすい！

今年は初めてぬか床を作りぬか漬けを作りました



生花はまとめてやらずに、それぞれのやり方とペースで

誕生日のお祝いは当日に行います。ケーキはみんなの手作りです



お彼岸にはおはぎを作って亡きご主人にお供えを



調理はそれぞれ出来ることを協力しあって行います。みんなで作ってみんなで美味しくいただきます。



たまには外でバーベキューをします



地域に住まう

グループホームこまばでは日頃から外に出て『地域に住まう』ことを大切にしています。ホーム内だけでなく開放された生活をご利用者者に提供できることに加え、地域の住民が認知症を知るきっかけになり、地域と一緒に認知症との共生を考えていきたいという想いからです。



氷川神社の祭礼。お神輿が愛隣会の中央通りを通ります。ご利用者は椅子を出して特等席でお祭り見物。威勢のよい掛け声に心がワクワクします！



恵風寮&あゆみ園の夏祭りは駒場学園の学生さんや筑波大学附属駒場高校のジャグリング、日本舞踊東路流青壽会の方々など沢山の方のご協力で、楽しい夏祭りになっています。私達も毎年楽しみに参加させていただいています。



駒場さん祭りには駒場苑グループ全体の夏祭りです。模擬店やゲームなど地域のボランティアさんのお力をお借りして開催しています。



駒場東邦中学の生徒さんが恵風寮の畑仕事のお手伝いに来てくれます。グループホームのご利用者もちょっとだけ参加しました。



駒場野公園の盆踊り。地域の老人会「寿会」の会長さんと記念撮影。盆踊りは体が勝手に動き出します！



こまばのこの人

西尾建二
21歳
R1.9.1入職



Q. 初めての就職ですね。

どうして介護の仕事を選ばれたんですか？

母が訪問介護の仕事をしていて話を聞いていた事もあり、介護に興味はありました。でも高校卒業時の進路を決める時に、周りから「介護よりも看護の方が社会的に認知度も高いし給料も良いから」と薦められて看護師の専門学校に入学にしました。

看護の勉強を進めていましたが、実習中に自分の心に3回転機がありました。

1年の時の実習で、自分たちで考えたアセスメントは一蹴され、実習指導者から提示されたアセスメントは、患者が考えている不安等の主観的情報よりも脈拍等の客観的情報が優先されていると感じて、なんかモヤモヤしてしまっていました。

そして、2年の時の実習で事件を起こしてしまいました。

カテーテルを抜去してしまう理由で抑制着(つなぎ服)を着せられている患者さんがいたのですが、痒くても掻けなくて気の毒に感じ、自分がついていられる時だけチャックを降ろして見守っていたんです。そしたら、居室の担当看護師に見つかって指導者にメッチャ怒られました…。

怒っている内容も理解できましたが、「治療」ってなんだろう…ってすごく考えちゃって…。

そんな気持ちの中、老年看護学実習で老健に行ったら、そこにいる人が皆笑顔で、関わっている人が老人を元気にしようと動いていました。その時に指導者が言った「病院は治療の場、介護施設は生活を整える場」という言葉にズキューンってやられてしまいました。そして自分の本当にやりたいことが見えてきました。その後、親に相談して専門学校を辞める事にしました。母は泣いてしまっていて…。自分はずっとしっかりしなくちゃって思ってたので貯めたお金で介護職員初任者研修に行きました。

Q. グループホームこまばに入職してどう感じましたか？

利用者同士が気に掛け合って、楽しく過ごしているって素晴らしいな～って思います。ご飯を一緒に作ったり、利用者さんから色々教えてもらったりすると嬉しいし勉強になります。

「病気」という側面ばかりで人を見るのではなく、人間らしく生活できるように関わりたいです。

Q. 今後の抱負は？

仕事をしながら勉強して実践を積んで行きたいです。駒場苑は外部研修も充実しているので、たくさん参加したいです。経験として特養など他の部署でも働いて力を付けたいとも思っています。近い将来は介護福祉士も取りたいです。



敬老会

9月15日に敬老会を行いました。

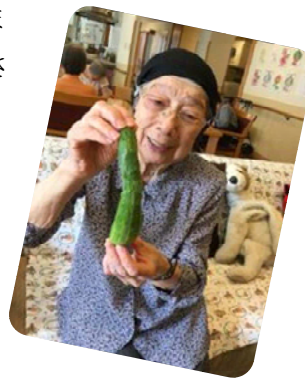
普通の家庭のような場所になって欲しい。そんな想いから、かしこまらず、家族が来て一緒に調理をして一緒に祝う、そんな会を企画しました。ご家族の方も楽に来てくれて家庭のような敬老会になりました。



こまば食堂

7月8月は2ヶ月連続で収穫祭と流し素麺を行いました。

デイサービス利用の地域の方やボランティアさん、ご家族が参加され賑やかな会になりました。



社会福祉法人愛宕会
グループホームこまば

こまば食堂

カフェ&アート

臨床美術で
芸術の秋を満喫しませんか？

日にち：令和1年11月9日(土)

時間：13:30~15:00

場所：グループホームこまば

参加費：300円(アート材料&お茶代)

皆様のご参加をおまちしています

創立30周年記念
駒場苑グループ合同

作品展

2019

11月17日(日)~24日(日)

9:00~17:00

場所：駒場苑 1階フロア

特養・デイ・グループホーム

合同で開催します。

是非観に来て下さい！